

# ガク★チキ探訪

## 狛江第三小学校



狛江第三小学校（通称三小）は、まちの南側、小田急線や世田谷通りよりも南側に学校がほしいという地域の人たちの思いにこたえて昭和32年10月に開校しました。

その名のとおり、狛江で3番目に開校した小学校で、開校当時の学校周辺は、一面に田んぼが広がり、校舎は小高い丘の上に建てられました。



昔の校舎（昭和43年）

三小といえはやさきやま矢崎山。矢崎山という名称を見聞きしたことはありませんか？

例えば学校の入口で来校者を迎えてくれる花壇は「矢崎花壇」と名付けられています。

なにより、三小の校章は、勾玉と剣で表した「小」の字を鏡を表す丸い円で囲み、矢崎山にちなんで三本の矢を配して三小を表しています。



矢崎花壇  
PTAの有志が手入れをしています

この矢崎山とは、実は三小が建つ場所のかつての地名になります。

地名の由来は、源頼朝がこの地に狩りにやってきて放った矢が突き刺さった場所だからとも、向ヶ丘の丘と成城の丘から放った矢がこの地まで届いたからとも、学校の建つ小高い丘の先端が矢の先のようなからともいわれています。

『遠野物語』の著者として有名な民俗学やなぎだくにおの柳田国男氏は、『地名の研究』という著

書の中で、「矢」という言葉について興味深いことを述べています。「やたて矢立」という地名の由来を説く中で「矢」という言葉は土地の境を意味していたといわれています。

はたして矢崎山の地、三小のこの地が、猪方・岩戸・駒井の境であるのは、単なる偶然なのでしょうか。

ちなみに、三小の校門は、猪方・岩戸・駒井の方面にそれぞれ配されています。



西門すぐ脇の坂道

西門のすぐ脇の道は南側に緩やかに下がっています。また、三小に向かう郵便局前の通りもなだらかな坂道になっています。三小が小高い丘の上に建っていることが感じられます。ちなみに、矢崎山にはかつて古墳があったなどともいわれています。